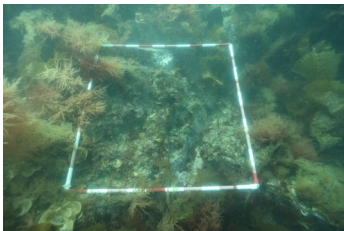
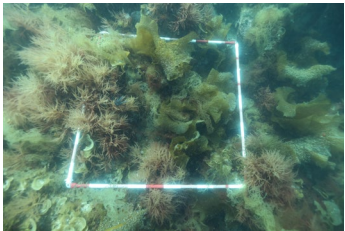


【対象面積の海藻類について】  
ヒロメ・ミリンが優占している。  
その他にスギノリ、ウミウチワ、ツカサアミ、カバノリ、ツノマタ、シラモ、オバクサ、キレバモク、ソゾ属、トサカノリ等が見られた。  
また、2月頃には一面をフクロノリが覆う。

【湿重量の計測】  
ツボ狩りは、対象面積の海藻類を代表する海藻が生育する場所（被度95％）において1m方形枠を設置し、枠内の海藻を採取して重量（kg）を計測した。

【含水比の算出】  
採取した海藻のうち一部の海藻を十分に乾燥させ、重量を測定して乾重量/湿重量より含水率を算出した。

【P/B比の算定】  
第3版磯焼け対策ガイドライン等の文献および採取した海藻の高さからP/B比を算定した



※袋重量0.09kg含む

単位面積当たりの湿重量：6.21kg/m<sup>2</sup>  
6.21 × 10 = 62.1t/ha

湿重量 ⇒ 乾重量  
80℃で94時間  
318.31 g ⇒ 29.73 g  
330.05 g ⇒ 41.41 g

含水率：平均89.05％

【雑海藻】  
P/B比：1.3



2月頃、  
全体を覆う  
ウミウチワ

【確実性評価について】  
ツボ狩り時において、全面をヘラで綺麗に剥ぎ取ってしまうと翌年に生えづらい為、ある程度の長さを残している。そのため、湿重量及び含水比、P/B比に対して過小評価を行っており、吸収係数に係る自己評価を100とする。